

.....

8月になりました。連日猛暑につき熱中症にご注意ください。

【佐賀県地域共生ステーション関連】

■第2回 佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修 / 後援 佐賀県

開催日：8月22日（木） 19:00～20:30 ※お申込み受付中です。

会 場：アバンセ 4F 第3研修室A（定員 54名）

講 師：一般社団法人 ぱるむ 代表理事 **伊東良輔 氏**（北九州市）

演題「権利擁護と成年後見制度 ～誰もが地域で自分らしく生活するために～」

略 歴

2002年 3月：西日本工業大学 工学部 土木工学科 卒業（土木工学士）

2006年 4月：社会福祉法人 北九州市福祉事業団 入職 視覚障害生活訓練等指導者

2014年 3月：北九州市立大学大学院 社会システム研究科 地域コミュニティ専攻 卒業

2015年 4月：一般社団法人ぱるむ設立 代表理事就任

一般社団法人代表、福祉専門職成年後見人として認知症高齢者・精神障害者・知的障害者の日常生活の支援を行うと共に、生活困窮者自立支援事業では子どもの学習支援に携わる。

心理学を背景とした対人援助の理論を基に、権利擁護に関する研修を中心に「成年後見人制度」だけでなく、労働者の権利としてのハラスメント研修等を担当。

資 格

社会福祉士 第112696号、精神保健福祉士 第48906号、介護福祉士 第D-739689号

介護支援専門員 第40100527号

福祉住環境コーディネーター 2級 14-2-11980・3級 14-3-10957

視覚障害生活訓練等指導者、福祉用具プランナー、相談支援専門員

非常勤講師等

・北九州市立大学：権利擁護と成年後見制度、障がい者に対する支援、相談援助実習 I

・九州保健福祉大学：現場実習巡回指導

・中村学園大学短期大学 キャリア開発学科 社会保障

・麻生医療福祉専門学校 心理カウンセラー科：現代社会と福祉 介護福祉士科：社会福祉の理解

- ・麻生医療福祉&観光カレッジ 介護福祉課 子ども保育科
- ・麻生リハビリテーション大学校:理学療法学科:社会保障
- ・北九州小倉看護学校:正看護師科:社会保障
- ・その他 厚生労働省 理化学研究所 網膜再生医療チーム 外部研究員

講師活動(2017 年度実績)

- ・北九州市手をつなぐ育成会 職員研修アドバイザー
「今求められている障害福祉分野での利用者とのかかわり」「中堅職員研修」「新任職員研修」
「しごとサポートセンター職員研修 アサーショントレーニング」
- ・直轄地区障がい者等地域自立支援会議 権利擁護部会研修講師
「権利擁護と成年後見制度」
- ・九州ブロック母子生活支援施設研究大会 権利擁護部会コーディネーター
「アセスメントの実践と支援の平準化について」
- ・福岡県母子生活支援施設協議会 第2回職員研修 講師
「褒めて伸ばす支援方法 ～指導から支援への転換～」
- ・古賀市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ研修
「市民後見人フォローアップ研修 ～求められる役割～」
- ・福津市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ研修
「権利擁護の支援から考える対人援助技術について ～虐待を未然に防ぐ基礎知識～」
- ・厚生労働省 別府重度障害者センター 職員研修 講師
「障害者虐待防止と権利擁護について」
- ・麻生介護サービス
「同行援護従業者養成研修 一般・応用課程」
「全身性障害ガイドヘルパー養成講座」
- ・熊本県視覚障がい福祉協会
「同行援護従業者養成研修 一般・応用課程」
- ・福智町 人権のまちづくり講座講師
「誰もが地域で自分らしく生活するために ～権利擁護の視点から～」
- ・福岡県社会福祉士会
「基礎研修Ⅰ 社会福祉士のあゆみ」
「基礎研修Ⅱ 実践評価・実践研究系科目Ⅰ」
「障がい者支援委員会認証研修 在宅の身体障がい者への支援について」
「児童家庭委員会認証研修 障害のある児童の支援」
「独立型社会福祉士支援委員会 自分の色を知ろう 交流分析・エゴグラム」

著 書

共著

ソーシャルワーク演習のための88事例 (中央法規出版)

寄稿

眼科ケア 第17巻 11号 「眼科関係者のためにロービジョンの支援方法」

別添、チラシからお申込みください。

■地域支え合いサポーター養成講座（10月22日）

主催／地域共生ステーション連絡会西部ブロック 共催／佐賀県

全面協力事業所／NPO法人ぬくもいのまちづくりさえずり

地域住民同士が多様なサービスで支えあい、子供から高齢者まで年齢を問わず、又障がいの有無に関わらず、誰もが自然に集い、住みなれた地域の中で安心して生活していける街づくりをめざすため、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘や担い手として活動する場づくり等が進むことを目的に開催されます。

3年間で鹿島・嬉野の地区毎にサポーターを100人養成することを目標に、一般地域住民を中心に現在地域活動をしている方や共生ステーション関係者にも呼び掛けします。

チラシができましたらご案内します。

■開設支援アドバイザー事業始まっています。6事業所訪問しました。

今年度も地域共生ステーション開設支援アドバイザー事業（佐賀県福祉課と同行）が6月から始まっています。今年度訪問する事業所は29団体で、すでに6事業所を訪問しています。ご同行の事業者の皆さま、誠に有難うございます。

地域共生ステーションが地域福祉の拠点となるために、その進展を後押しする事業になります。佐賀県と同行し、訪問先の地域共生ステーションの担当者とアドバイスを含めた意見交換を主とし、これまで世話人や訪問の経験のある会員様に依頼しています。訪問へのご協力をお願い致します。

訪問された方は「アドバイザー派遣事業 記録票」に簡単な感想をお書きになり、事務局までファックス又はメールにて送付ください。

訪問する事業所に共通する課題としては「人手不足」の問題です。ハローワークや有料求人も効果がほとんどないという声も聞こえています。皆様のところはいかがでしょうか。今後、各々の地域で人をどう確保するかは喫緊の課題といえます。

■第3回地域共生ステーション資質アップ研修(実践者報告) ※11月予定

地域共生ステーションの会員様の中から、その実践を含めた講演の企画になります。嬉野市で活躍されています「Happy Care Lifu(株) デイサービス宅老所芽吹き」の中林正太さんにご登壇いただく予定です。チラシができましたらご案内いたします。

■第4回地域共生ステーション資質アップ研修(市民協) ※2月予定

佐賀県地域共生ステーション連絡会は、認定NPO法人市民福祉団体全国協議会にグループ会員として加入しています。これまでも常務理事の田中尚輝様にご登壇いただいたり、全国組織として知名度のある全国組織の一つとしてご存じの方もおられると思います。現在組織の再編が図られており、九州支部も準備中とのことです。今後、皆さまの事業所に連絡や挨拶にも伺われるかもしれません。連絡会でも連携をはかり、良い情報を皆さまに届けられたらと考えています。

2月に再編後の市民協の動き、今後の介護や地域支援を含め、情報発信をしていただく機会を予定しています。チラシができましたらご案内いたします。

■次回世話人会 8/22(木) 14:00 ご出席ください

偶数月の毎月第3水曜日に実施しておりますが、アドバイザー派遣と重なりましたので、今回は1日ずらしていただきます。この日は19時からアバンセで第2回資質アップ研修も開催されます。万章繰り合わせの上お越しください。

■協議体(話し合いの場)に参加しましょう!!

地域共生ステーションの皆様は、地域に密着した事業展開を推し進めておられるところも多いと思います。介護保険の中でも、地域を意識した取り組みが重要視される施策へと変化しつつあります。2025年以降、爆発的に増えると見込まれる生活支援や軽度者の支援に対応できる事業所づくりを今から始めていきましょう。

協議体は県内で少しずつできていきますので、地域共生ステーションが各々の地域の資源になるためにも、積極的な参加をお勧めいたします。

■連絡会受託事業及び佐賀県の補助事業について

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県から「佐賀県地域共生ステーション開設等支援事業」を受託しています。令和元年からは、一般財源から地域医療介護総合確保基金(長寿社会課担当)の財源に変更されることにより、この事業の実施については「介護人材の確保」に資する事業を実施していくことが求められています。

地域共生ステーションや地域福祉に携わる人(雇用・有償ボランティア・ボランティア)の確保や定着につながる事業展開にシフトしていくこととなりますが、人口減少社会に突入し、今後担い手の確保はどこも喫緊の課題になると予測されます。各地域共生ステーションにおいて、この補助事業を有意義に活用していきましょう。

地域共生ステーションでは、介護保険事業を柱としながらも、多様な生活支援サービスの創出や地域を巻き込んだ人材の確保などが期待されています。特に、新しい介護予防日常生活支援総合事業が始まったことにより、住民主体の「一般介護予防事業」や「通所・訪問サービスB」などへの参画が、長期的な事業の安定や、担い手確保につながる可能性があることから、連絡会ではこれら事業への参画を呼び掛けているところです。すでに体操教室や居場所づくり、在宅での生活支援などを実践されているところもあり、こうした事業所は市町における総合事業の補助対象にもなり得ます。軽度者支援というだけでなく、地域に密着した事業展開を安定的に行う意味でもこうした事業への参画は、将来的な地域の「利用の窓口」ともなり、事業者として取り組むメリットも大きいと考えます。将来に備え、今からの下地づくりに是非チャレンジください。

「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の補助要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換が主たる目的になっていますが、総合事業としての活用も含め、サテライトや地域住民交流の拠点づくりとして補助を活用されてみてはいかがでしょうか。(相談は佐賀県福祉課になります。)

【地域情報】

■ブロック・会員活動・連絡会以外の地域イベント情報等

※各地域共生ステーションやそれ以外の地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。（fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで）

中部ブロック（佐賀市・小城市・多久市・神埼市・江北町・大町町）

●地域の居場所情報

ふれあい広場「あらこの家」（NPO法人宅老ちよだひまわりの会） ※別紙

西部ブロック（武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町）

●佐賀県地域共生ステーション西部ブロック定例会・研修会（次回）担当：きらきら星

日時：令和元年9月18日（水） 場所：楠風館

定例会 18:00～／研修 19:00～「救急蘇生法（AEDの使用法）」

北部ブロック（唐津市・伊万里市・有田町）

●佐賀県地域共生ステーション北部ブロック会議（伊万里市立花町1462-2）※別紙

日時：令和元年8月28日（水） 14:00～15:30

場所：(株)はなのわ デイサービスあさひ

内容：「消費増税に伴う報酬改定、次期介護保険改定について」

講師：(株)はなのわ 西野秀樹氏

●第2回「在宅医療・介護連携多職種研修会」※別紙

日時：令和元年9月11日（水）19:00～20:40

場所：相知交流文化センター「文化ホール」

内容：①事例発表「多職種で関わり訪問栄養指導を行った症例」

唐津市民病院きたはた 管理栄養士 渡邊真由美氏

②特別公演「身近だけど奥が深い、栄養を考える」

九州女子大学家政学部栄養学科 教授 三浦公志郎氏

東部ブロック（鳥栖市・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町・基山町）

※2月に1回の頻度で第1水曜日に勉強会が予定されています。

[ブロック代表の皆さま、情報提供にご協力ください。](#)

.....

【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】

■佐賀県シルバー人材センター連合会受託 福祉有償運送講習会

今年度も佐賀県シルバー人材センター連合会から受託し、福祉有償運送講習会を実施します。今年度は

8月に唐津、11月に神崎市で開催の予定です。

公共交通機関は縮小傾向にあり、高齢化による免許返納の問題など、高齢者の生活の足の確保が社会問題になっている中で、全国的にこうした安全運転や福祉交通への関心が高まってきています。

また、「地域支え合い型移動サービス講習会」も昨年に引き続き1回開催する予定になっています。

■みやき町で移動支援講座が開催されました(7/31)

みやき町は、住民主体の生活支援体制を積極的に進めています。その中で、声があがった地域の移動支援について、町内で先駆けて地域の高齢者の移動支援に取り組まれている、認定NPO法人中原たすけあいの会代表の平野征幸氏を講師に、講演会が開催されました。

「移動支援の実際について学ぼう」と題した話に皆さん熱心に聞き入っておられ、講演終了後も多くの質問もあり、住民の意識の高さがうかがえました。

■小城市生活支援体制整備事業「外出支援」研修会(6/26)

日常生活に欠かせない「外出」について、住民相互でできる支援のあり方、方法について学ぶために、外出ボランティアをやってみたいという方を対象に、講演会が開催されています。講師はNPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長の横山和廣氏。自身の移動サービスの実践も含め「外出支援について～先進地の事例を通して～」と題した講演には市民約70名程が参加されています。

■移動支援サービス専用自動車保険 待望の保険です!!

移動支援サービスを提供する場合には、ドライバーの持ち込み車両を活用しなければならない場合、現状では送迎サービス中の補償は、ドライバー個人の自動車保険を使う以外に補償がなく、ボランティアドライバーにとって負担感のあるものでした。主体となる市町村やNPOは、ドライバー確保に関わる課題として認識されており専用の保険が求められていました。この新しい保険は、運営者が保険に加入し、ドライバーが加入する保険に優先して使用することが可能となっています。2019年7月から販売されています。損害保険ジャパン日本興亜(株)の商品です。

■DVD 住民主体の移動・外出支援って何？

DVD「～地域にあるクルマと人をつくる支え合いのしくみ～住民主体の移動・外出支援って何？」がNPO法人全国移動サービスネットワークから好評発売中です。住民による登録や許可を要しない運送の実践が収録されています。

■次回の移動サービス認定運転者講習(8/31～9/1日開催)

受講者を募集いたします。お申込みはお早目をお願いいたします。デイサービス送迎者の運転スキルアップにもなりますので、地域づくりの移動支援に関心のある方など、有償運送事業者以外の方の受講も可能です。

◆場所：認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家会議室
(佐賀市鍋島三丁目3-20 鍋島シェストハーモニー3F)

◆電話：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービス(移動支援)をはじめませんか!!

移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）をさが福祉移動サービスネットワーク主催で開催しています。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、地域づくりにおいて生活支援の移動支援も注目を集めています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

■佐賀県の福祉有償運送団体

平成3年9月1日時点で、32団体となっています。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036ena15.pdf (佐賀県HPより)

■佐賀県の国土交通大臣認定福祉有償運送講習団体

- 1 さが福祉移動サービス・ネットワーク（通常講習年間4回開催）
講習内容 福祉有償運送・セダン型講習
- 2 認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家（臨時講習のみ）

上記、2団体が認定を受けています。通常講習以外にご依頼がある場合は、ご相談ください。

.....

佐賀県地域共生ステーション連絡会

さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニービル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukusinoie@world.ocn.ne.jp

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。